

# 令和8年度 県立波崎柳川高等学校自己評価表

目指す 学校像	生徒が地域とともに「挑戦できる・可能性を伸ばせる・成長できる」学校～笑顔で チャレンジ・やりきる・思いやる～		
三つの方針	具体的目標		
「三つの方針」 (スクール・ポ リシー)	「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	(長期的目標) ～未来へつなぐ～ ○仲間とともに高め合い、さらなる成長を目指す力 ○夢や目標の実現に向け、最後までやり抜く力 ○地域の課題を意識し、社会に貢献できる力	
	「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	(中期的目標) ～可能性を拓ける～ ○自分を信じ、何事にも積極的に挑戦する姿勢 ○夢や目標を見出し、主体的に行動する力 ○仲間と協力し、互いを尊重しながらともに成長する力	
	「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	(短期的目標) ～自分を築く～ ○自分の長所を生かし、自信を育む姿勢 ○何事にも一生懸命取り組み、学びの基礎を固める姿勢 ○身近な人や社会のためにできることを考え、行動する力	
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成 状況
<p>進路支援については、定期的な進路ガイダンスの実施に加え、日常的な進路相談等により、生徒の進路に対する意識、意欲が高まった。進学、就職ともに、多くの生徒(40名中35名:88%)が目標を達成できた。保護者向け学校評価アンケートの結果も、「本校に入学させて良かった」との回答が約90%であり、自己実現のために生徒が教職員ともに取り組む姿勢が見られ、良好な人間関係を構築している成果の現れであると思われる。今後も生徒ファーストの精神、生徒に寄り添った日常的な学習活動や進路支援、さらに特別活動の充実をはかっていきたい。</p> <p>神栖市と市内三高校の包括連携協定も6年目を迎え、新たな取り組みに挑戦するとともに、異校種間交流をさらに深める。また、開かれた学校づくりを推進するために、教育活動についての情報発信を積極的に行い、信頼感と連携・協働の意識を高めていきたい。</p>	学習指導	① 基礎的・基本的な知識の定着と、相互の価値観を尊重しながら協働的に学ぶ力の育成 ② 主体的・対話的な学びを深め、思考力と発信力を養い、課題解決に向けた実践力の向上	
	授業改善	③ 生徒の授業満足度80%以上(KPI)を目指し、わかりやすき工夫された授業づくりの推進	
	特別活動・部活動	④ 主体性を育む学校行事、生徒会活動、常任委員会活動の充実 ⑤ キャリアパスポートと教育活動・行事との効果的な関連づけの実践 ⑥ 健康と安全を意識した、持続可能な生活・生涯スポーツにつながる活動の推進	
	生徒支援	⑦ 基本的な生活習慣と時間意識、TPOを踏まえたマナー・身だしなみの定着 ⑧ 校内外での交通安全指導の強化と、命の大切さ・規範意識の向上 ⑨ SNSを含む情報機器の適切な活用と情報モラルの向上	
	進路支援	⑩ キャリア教育の充実・ICT活用の推進、振り返りと課題設定を通じた学習習慣の定着 ⑪ ゼミ・資格取得支援体制の充実 ⑫ 進路相談体制の強化・改善 ⑬ 企業・大学等との連携プログラムの充実	
	地域・関連機関との 連携	⑭ 学校間・関係機関(神栖市三校 包括連携協定・PTA・同窓会)との連携による教育活動の活性化 ⑮ 地元学校(柳川小、波崎三中、神栖三中)・企業との交流・協働を通じた地域共育の推進 ⑯ 学校説明会の充実と教育活動の積極的な広報	
働き方改革	⑰ 全職員の連携による業務の効率化、行事や業務の見直しと重点化 ⑱ ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方の定着		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
教務	授業が楽しいと回答する生徒80%	校内授業研修期間を設定し、指導方法を工夫して生徒が学びやすい授業環境をつくる。①②③⑤		
		ユニバーサルデザインを意識した授業づくりをする。②③④⑩		
	学校が楽しいと回答する生徒80%	行事や各活動を探究活動と紐づけし、目標に向かう態度を育成できる活動をする。②④⑫		
		行事や各活動へ主体的に取り組めるような掲示などを工夫する。②④		
進路支援	自主学習の習慣化により学力の向上・伸長を図る。	朝学習や週末課題の実施により、自主学習の習慣化を図る。①②		
		I C Tの活用や計画的・継続的な単元テスト・定期テストの実施により学力の向上・伸長を図る。②③⑩⑫		
		探究活動にN I Eを取り入れ、言語活動を実践して思考力・表現力の向上・伸長を図る。①②⑫⑬		
	キャリアデザイン能力と学習の振り返りを強化する。	全教科で目的と振り返りを意識した授業を実践し、思考力・表現力の向上を目指す。①②⑩⑫⑬		
		進路実現の一方策として、ゼミ・検定・模擬試験への挑戦を促す。①⑩⑪⑫		
	3学年の最終進路決定100%	生徒の意識を高める進路ガイダンスや企業説明会等を実施する。⑩⑫⑬		
2学年末までに希望進路決定90%	個々の希望や適性を考慮して、必要に応じて合理的配慮を意識した指導・支援を行う。②⑫			
1学年末までに希望進路決定80%	適切な進路指導を実践する(生徒・保護者対応、文書処理、外部対応等)。②⑫。			
生徒支援	基本的な生活習慣を確立させる。	あいさつを励行し、正しい服装や礼儀作法を身につけ、品位ある生活を送れるようにする。⑦		
		遅刻防止・始業時間遵守に努め、時間を守る習慣をつけさせる。⑦		
	健康・安全に対する意識の向上。	病気や交通事故の恐ろしさを理解させ、自己の身体と健康に関心を持たせる。⑧		
		登下校指導を強化し、交通事故や問題行動の未然防止に努める。⑧		
	携帯電話の使用マナー向上。	校則の理解を深めさせ、節度ある使用態度を育成する。⑦⑨		
		外部講師を招き、SNSに関するマナー・トラブルを理解させる。⑦⑨		
保健厚生	組織的な学校環境の整備を図る	全校清掃を実施し、組織的な環境美化活動を実践する。⑭		
		生徒委員会活動とリンクした安全指導、安全管理を行い、保健安全に対する意識を高める。⑧		
	健康に対する意識の高揚を図る。	全校清掃をはじめ生徒との協働を通し心身の健康の向上を目指す。⑥⑦		
		健康の維持増進のための適切なデジタル機器使用について指導啓発する。⑨		
	交通安全・防災意識を高める指導をする。	交通安全指導、不審者侵入を想定した避難訓練を実施し、生徒・教職員が想定外の事態に適切な判断・具体的な行動がとれるようにする。⑧⑮		
渉外広報	学習環境充実のために地域連携を促進する。	「地域に寄り添うP T A」をモットーとして地域貢献に努める。⑭⑮		
		マナーアップ活動への参加促進を行う。⑦⑭⑮		
	保護者・教職員とともに参加型の活動を促進する。	校内行事や企画をP T Aとともに推進していく⑭⑮		
		保護者との協働、相互理解によりコミュニケーションの向上をはかる。⑭⑮		
P T A広報誌の充実を図る。	学校からの情報発信を高めるとともに、広報誌の質的向上をはかる。⑮⑯			
特別活動	キャリアパスポートを活用する。	キャリアパスポートを活用することで、自己肯定感を高め、学習や生活への意欲を高める。②⑤		
	委員会活動を充実させる。	生徒一人一人に役割を持たせることによって、生徒主体の委員会活動を促進する。②④		
	部活動の活性化を図る。	地域のスポーツ人材と連携し、効果的な活動を目指した指導体制を整備する。④⑭⑮⑰		

評価基準 A : 大変良くできた B : 良くできた C : 普通 D : やや不十分 E : 不十分

1 学年	基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を図る。	身なりを整えさせる。時間を守らせる。⑦⑧		
		挨拶・返事をしっかりとさせる。欠席、遅刻、早退をしないようにさせる。⑦⑧		
	部活動、生徒会活動、資格取得、ボランティアへの参加を促す。	タイミングよく声掛けを行う。④⑥		
		継続して応援する。④⑥		
2 学年	家庭学習の習慣化により、基礎学力の定着と伸長を図る。	互いが教え合う場面を多くし、授業の理解が深まるよう促す。①②		
		宿題を必ずやらせるなど、家庭学習を習慣化させる。①②		
	人間関係構築能力を高める。	自ら笑顔であいさつをし、普段から丁寧な言葉遣いを意識させる。④⑦		
		HR活動・部活動・学校行事で仲間と協力し、コミュニケーション能力を高めながら、課題を解決する生徒を育てる。④⑤⑥⑦		
3 学年	進路目標を確立し、主体的に行動する態度を身に付ける。	自分の強みを見つけ、そこから将来の目標を見つける態度を養う。①②⑩		
		自分の強みを磨き、将来の目標を実現する行動・学習努力を積み重ねる生徒を育てる。①②③⑩		
	主体性と自律を意識し、規範意識を伴う行動・態度を身に付ける。	自ら周りを意識する主体性を養う。仲間をつくり共に課題にチャレンジする生徒を育てる。④⑤⑥		
		公衆モラルを意識した行動を心がけ、TPOに応じて対応できる生徒を育てる。⑦⑧⑨		
3 学年	TPOをわきまえ規律ある行動を実践する。	時間を意識し、自律的に行動する生徒を育てる。①③⑦		
		TPOに応じた服装や態度を実践する生徒を育てる。⑧⑨		
	進路実現を目指し自ら探究する態度を育てる。	授業を基にして、一人一人が自らの学びを深める。①②⑩		
		自らの長所や適性を理解し、積極的に行動することで進路実現につなげる。⑩⑫⑬		
国語	学校行事やボランティア活動を通して社会性を身に付ける。	HR活動・部活動・学校行事に積極的に参加し、自己の役割を果たす生徒を育てる。④⑤		
		資格取得やボランティア活動に積極的に挑戦し、自己を活かす生徒を育てる。⑩⑪		
	基礎的・基本的知識を身に付けさせる。	漢字検定を督励して、授業でも関連指導を行い、漢字検定準2級程度の読み書き能力を養う。①⑪		
		毎時間記入する振り返りカードにおいて、接続詞を用いて論理的な文章を書く力を身に付けさせる。②		
地理 歴史 公民	文章読解力を養う。	生徒の実態に合った授業実践と改善を行い、文章を的確に理解し自らの意見を持てる力を養う。①②		
	基礎・基本の定着と歴史的思考力・地理的判断力の向上を図る。	生徒の実態や場面に応じた授業実践とその改善を図り、基礎的・基本的事項の定着を図る。①②③		
		ICTやGIS、資料や史料を活用して時間・空間を意識して諸課題を多角的・多面的に考察し、表現する力を養う。①②⑩		
	基礎・基本の定着と現代の諸課題を主体的に考察・判断する力の育成を図る。	生徒の実態や場面に応じた授業実践とその改善を図り、基礎的・基本的事項の定着を図る。①②③		
数学		ICTやNIEを活用し、資料や史料を読む力を通して社会に生きる一市民として現代の諸課題を自分事として考察する力を養う。①②⑩		
	基礎・基本の定着を図る。	電子教科書と板書を併用して、生徒の実態に合った授業を実践し授業改善を図る。①③⑩		
		小テストなどで理解度を確認できるようにし、基礎・基本の計算力、応用力を段階的に高める。①③⑩		
	主体的に問題を解決する力を養う。	グループワークを行い、既習事項をもとに、問題を解く道筋を考えられるよう支援する。①②		
理科		生徒に数学検定の受験を勧め、対策ゼミを行い、合格率を上げる。①⑪		
	基礎・基本となる科学的知識・技能を定着させる。	板書やICT教材を工夫し、生徒の実態に合った授業を展開する。①③⑩		
		小テストや振り返りシートなどで生徒自ら理解度を確認する機会を設け、定着につなげる。①②⑩		
	身近な事物・現象に興味をもち、根拠を基に考え・説明する力を養う。	実験を的確に実施し、日常生活と関連させながら科学的現象を体験させることで、生徒の授業満足度を80%以上にする。①②③		
	口頭発表やプレゼンテーション・報告書作成など、発表する機会を積極的に設ける。①②③			

※ 評価基準 A：大変良くできた B：良くできた C：普通 D：やや不十分 E：不十分

保健 体育	生涯にわたって運動する習慣を身に付けさせる。	健康・安全に配慮し、主体的に学習に取り組む態度を養う学習活動を工夫改善する。②⑥ スキルテスト等を行い、運動技能の習得と課題解決に向けた姿勢を養う内容を増やす。①②③		
	自らの健康を維持し、体力向上の意識を育てる。	健康に関する個人の意志決定や行動選択が適切にとれるように授業を進める。②③⑥ 運動に関する理論を習得させ、健康の保持増進と体力の向上を目指す運動が継続できるようにする。①⑥		
芸術	意欲的に芸術活動に取り組む態度を育てる。	基本的技術を身に付けさせる。①② 様々な表現方法を体験させる。①②③		
	感性を高め、創造的な表現をする能力を養う。	内容に応じた表現の工夫をさせ、創造力を高める。①②③ 芸術についての理解を深め、主体的な学習態度を身に付けさせる。①②		
家庭	基礎的な知識と技術を習得させる。	安心安全・衛生面に配慮し教具や実習室を整備し、主体的な学びができるよう活動を工夫する。①②③ ICTを活用し視覚からの情報を得ることで確認・理解を深め実践する。①②⑩		
	家族や地域の一員として主体的に行動できる力を養う。	授業の学びを活かしてホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践し、家庭や地域生活の課題を解決できる能力を身につける。①②⑦		
英語	基礎的な英語の知識を習得させる。	生徒の実態に応じた教材を作成し、授業において効果的に活用する。①②③ 生徒の進路実現に向け英検受験を奨励し、対策ゼミや個別指導の機会を設け合格率を上げる。⑩⑪		
	英語によるコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	授業における生徒の言語活動の機会を増やす。授業で定期的に言語活動をおこない、生徒の発信力向上や成功体験に繋げる。①②③⑩		
情報	情報活用能力の向上	情報社会と問題解決。コミュニケーションと情報デザイン。コンピュータとプログラミング。情報通信ネットワークとデータの活用。の4分野を基礎から学ぶ。①②		
	情報社会における望ましい態度の育成	著作権・肖像権等の情報倫理を身に付ける。コンピュータ、スマホ等でネットワーク、SNSを利用する際のマナーや注意力を高める指導を展開する。①②		
	「小規模校支援型遠隔授業」の円滑な実施	高校教育課、配信校等と連携を図り、「情報Ⅰ」の遠隔授業の円滑な実施、運用を進める。⑭⑰⑱		

※ 評価基準 A：大変良くできた B：良くできた C：普通 D：やや不十分 E：不十分